

平成30年11月14日

各 位

会 社 名 株式会社フェニックスバイオ
 代 表 者 名 代表取締役 島田 卓
 (コード番号：6190 東証マザーズ)
 問 合 せ 先 専務取締役管理部長 田村 康弘
 (TEL 082-431-0016)

平成31年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び
 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成30年5月15日に公表しました平成31年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成31年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成31年3月期 第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異
 (平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	631	△67	△69	△75	△26.10
今回実績(B)	426	△265	△249	△251	△86.18
増減額(B-A)	△204	△197	△180	△175	—
増減率(%)	△32.4	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	316	△226	△220	△221	△76.49

2. 平成31年3月期 通期連結業績予想数値の修正
 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,498	124	122	104	35.87
今回修正予想(B)	1,277	△124	△113	△129	△44.45
増減額(B-A)	△221	△249	△235	△233	—
増減率(%)	△14.8	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	902	△268	△267	△270	△93.36

3. 差異及び修正の理由

第2四半期連結累計期間の業績について、肝炎関連の受注高は抗B型肝炎薬の開発進展に伴い回復してきておりますが、追加の試験受注等により当初の試験スケジュールを組み直したことで、売上計上の下期への後ろ倒しが約85百万円発生いたしました。加えて、顧客からの被験物質の受領遅れ等による試験及びマウス納品への影響が約74百万円、年間契約を見込んでいた顧客の予算見直しによるPXB-cellsの販売減少が約14百万円、それぞれ生じたことにより売上高は予想を下回りました。損益面につきましては、経費は概ね想定通りに推移しましたが、前述の売上高減少による影響から、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、当初予想を下回りました。

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間までの業績を踏まえるとともに、新たに連結子会社となったKMT Hepatech, Inc.の主要販売先であるNational Institutes of Health（アメリカ国立衛生研究所）において研究予算執行が停滞している状況を売上高に反映して、上記のとおり修正いたします。

なお、為替レートにつきましては、現在の状況を鑑みて1ドル105円から110円に変更しております。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上